

サステナビリティに関するアンケート 各企業の取組状況実態調査2024

- 結果報告 -

2025年4月

JCMA SDGs委員会

調査期間：2024年11月～2025年1月

対象： JCMA会員 2024年11月現在の企業・団体

回答数： 96社・団体

業種内訳	企画・運営：	21社	ディスプレイ：	11社
	印刷・デザイン：	7社	ホテル：	5社
	映像・音響・照明：	15社	旅行・運輸・物流：	2社
	ケータリング：	4社	レンタル：	5社
	情報・システム：	2社	コンベンション施設：	8社
	シンクタンク：	1社	コンベンションビューロー：	6団体
	人材サービス：	5社	その他：	3社
	通訳・翻訳：	1社		

※回答者 部署内訳

営業部門・支店： 42名

経営者・管理部門： 42名

サステナビリティ専任： 4名

その他： 8名

* 記入された部署名をカテゴライズしたものです。

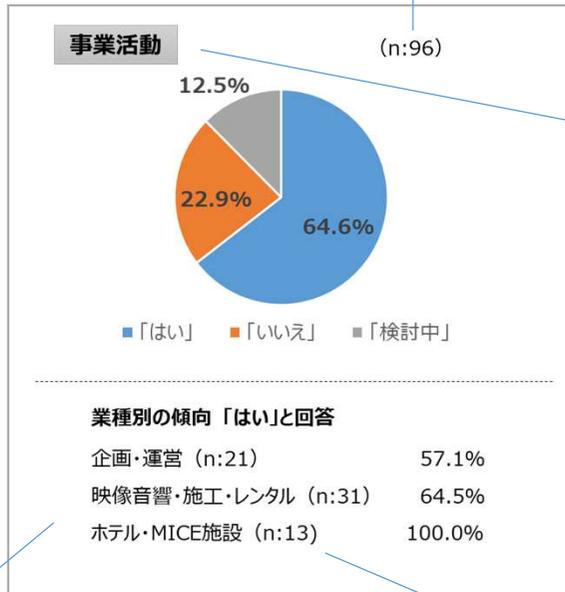
設問数： 5問（質問及びチェック項目数：39項目 自由記述：9項目）

設問内容：サステナビリティに関し、各企業の取り組み状況を「事業活動」「企業活動」に分けて回答を依頼

- ・事業活動：企業が商品やサービスを生産・提供する過程で行う具体的な取組
- ・企業活動：企業全体の運営や経営に関わる事業活動以外の取組

アンケート調査結果グラフの見方

問1～5：全会員を対象
(n:96) = 回答社数96社



事業活動：企業が商品やサービスを生産・提供する過程で行う具体的な取組

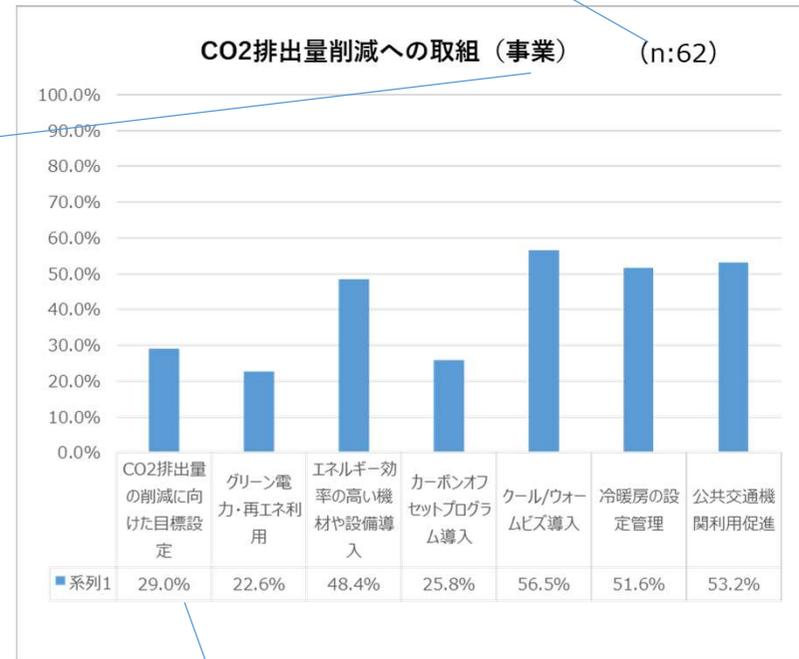
企業活動：企業全体の運営や経営に関わる事業活動以外の取組

業種別の傾向：主な業種をピックアップし、3つのカテゴリーに分類

- ① 企画・運営
- ② 映像音響照明 + ディスプレイ + レンタル
- ③ ホテル + コンベンション施設

例 (n:13): ホテル + コンベンション施設の回答社数

取組を「行っている」と回答した会員を対象
(n:62) = 回答社数62社



例 29%: 62社中「CO2の%排出量の削減に向けた目標設定」を行っている」と回答した%

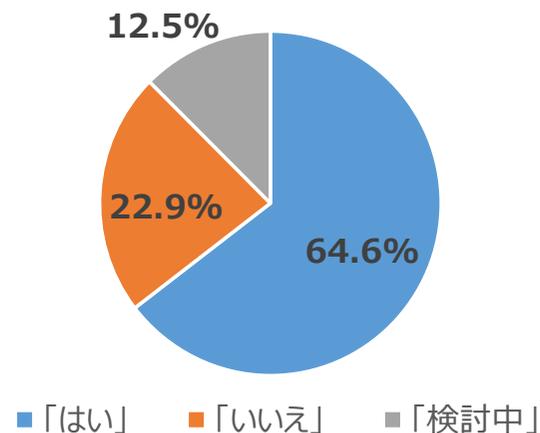
※パーセンテージは小数点第2位を切り捨てて表記していますが、合計値は100%にならない場合があります。

問 1 : 取組の推進状況 1) 脱炭素に向けた取組

1) 貴社では、CO2排出量の削減に向けた具体的な取組をしていますか？

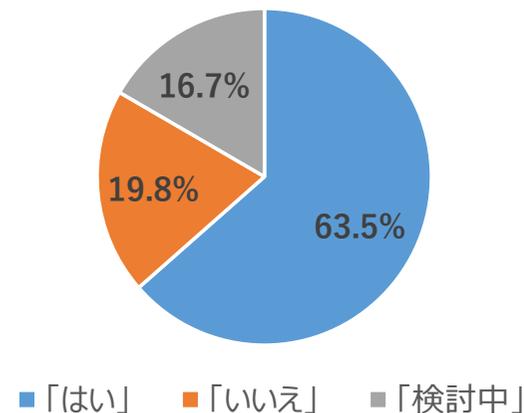
事業活動

(全体 n:96)



企業活動

(全体 n:96)



業種別の傾向「はい」と回答

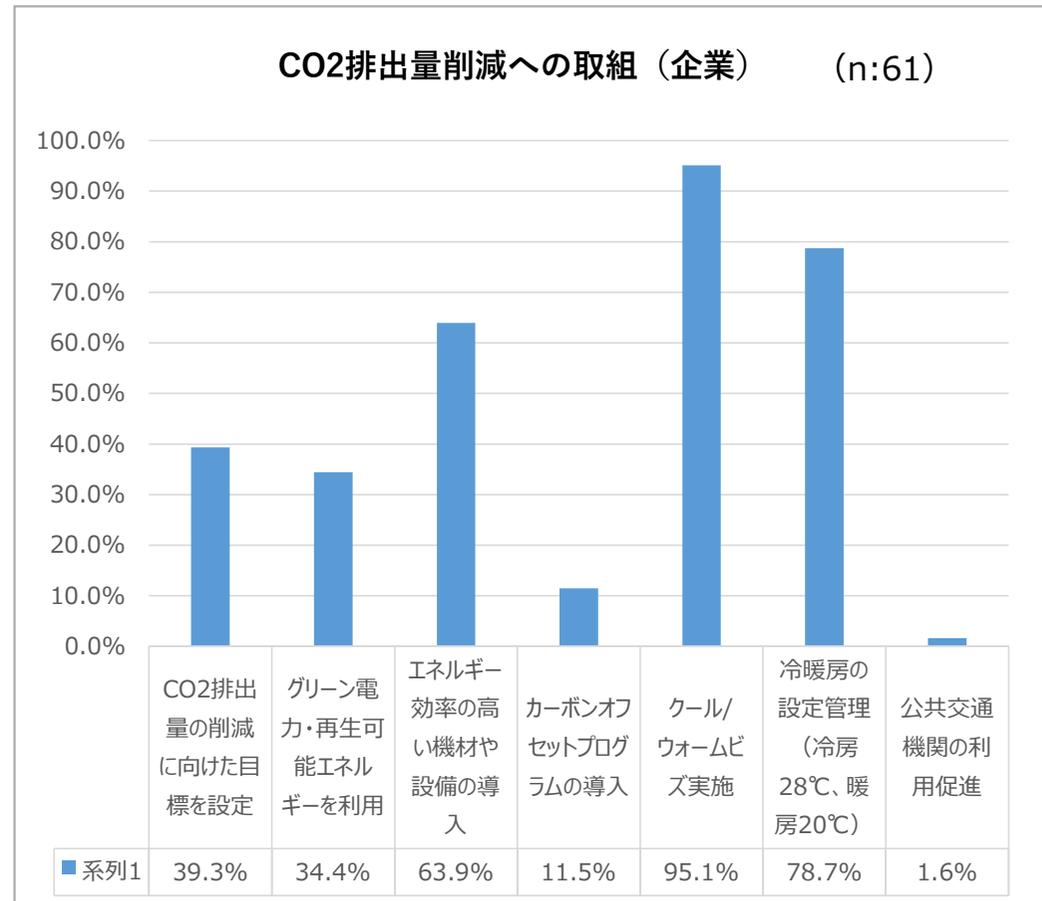
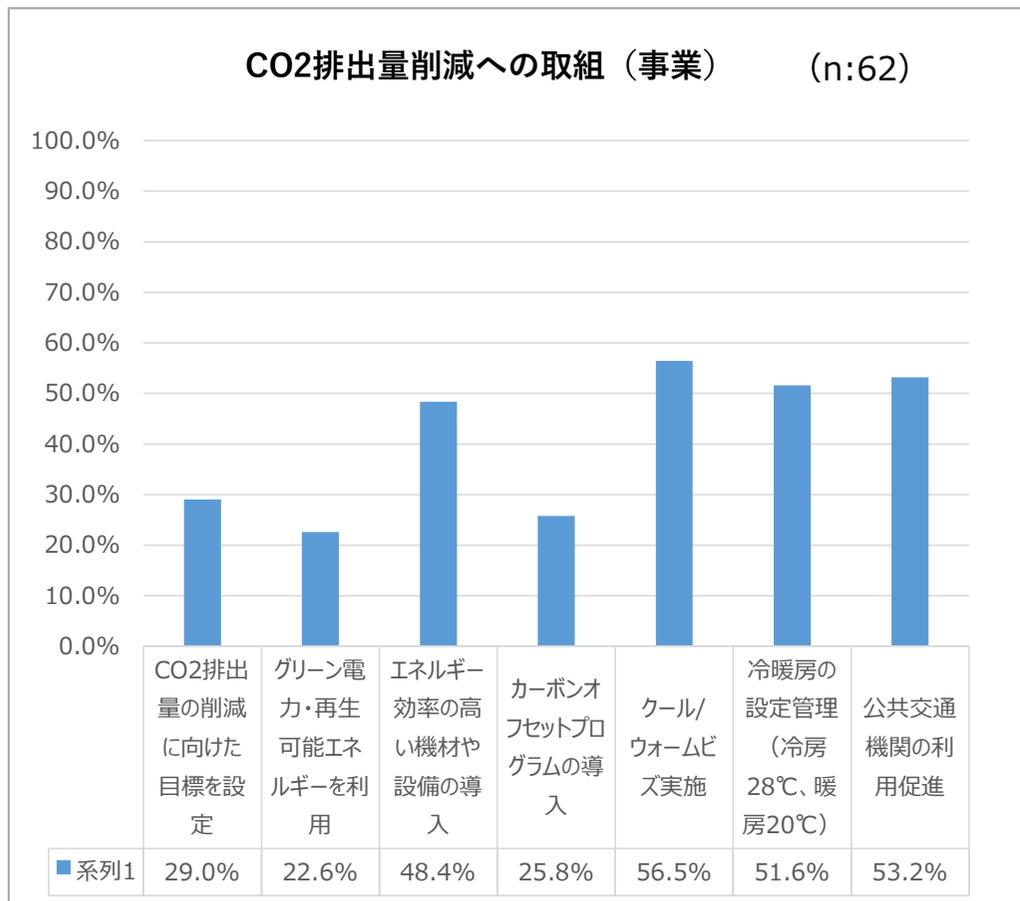
企画・運営 (n:21)	57.1%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	64.5%
ホテル・MICE施設 (n:13)	100.0%

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	61.9%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	61.3%
ホテル・MICE施設 (n:13)	69.0%

脱炭素に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

CO2排出量削減のために実施している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



脱炭素に向けた取組について補足または、その他具体的な取り組み内容をご記入ください

企画・運営

- ・企業活動・事業活動においてグリーン電力証書や非化石証書による電力の再生エネ化を導入している。
- ・クライアントに対するイベント時の出力廃止やフードロス対策の提案等の実施
- ・ペットボトルキャップの回収（社内飲食にて実施）
- ・オフィスビルは再生エネ、事業には電力証書の導入を促進中です。

映像音響・施工・レンタル

- ・各事業拠点の電力の再生エネ化 ・イベント、展示会の全プロジェクトにおける非化石証書を活用した電力の実質再生エネ化
- ・電気使用量に基づくCO2の間接排出量削減の目標値を設定し、毎月集計・進捗管理を実施
- ・営業車両の運行管理（燃費向上）、カーシェアリングの利用
- ・太陽光発電による再生エネルギーを活用し、機器の運用や充電をおこなっており、化石燃料使用を抑えています。また、社内で使用する電力はすべて再生エネルギーです。

ホテル・コンベンション施設

- ・グリーン電力、再生可能電力の利用
- ・カーボンオフセットの仕組みを導入
- ・食材等の共同配送
- ・ペットボトルの水平リサイクル

その他

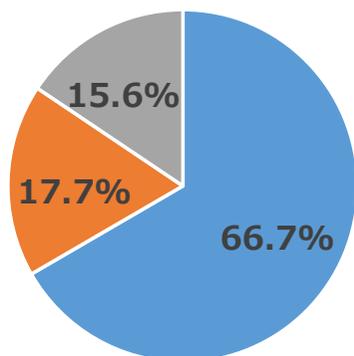
- ・2022年より事業活動のカーボンゼロ達成済み また、社員家族の排出分もカーボンゼロ達成済み（ただし、社員より申告のあった量。申し出のあった社員にはインセンティブあり）
- ・ケータリング提供のエコ素材資材の積極的な取り入れ

問 1 : 取組の推進状況 2) 資源循環に向けた取組

2) 貴社では、廃棄物削減に向けた具体的な取組をしていますか？

事業活動

(全体 n:96)



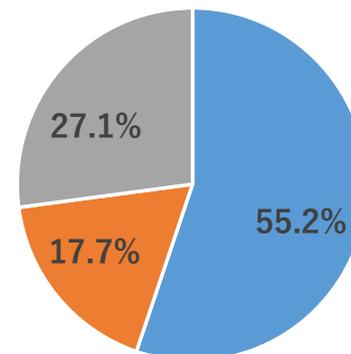
■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	61.9%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	67.7%
ホテル・MICE施設 (n:13)	84.6%

企業活動

(全体 n:96)



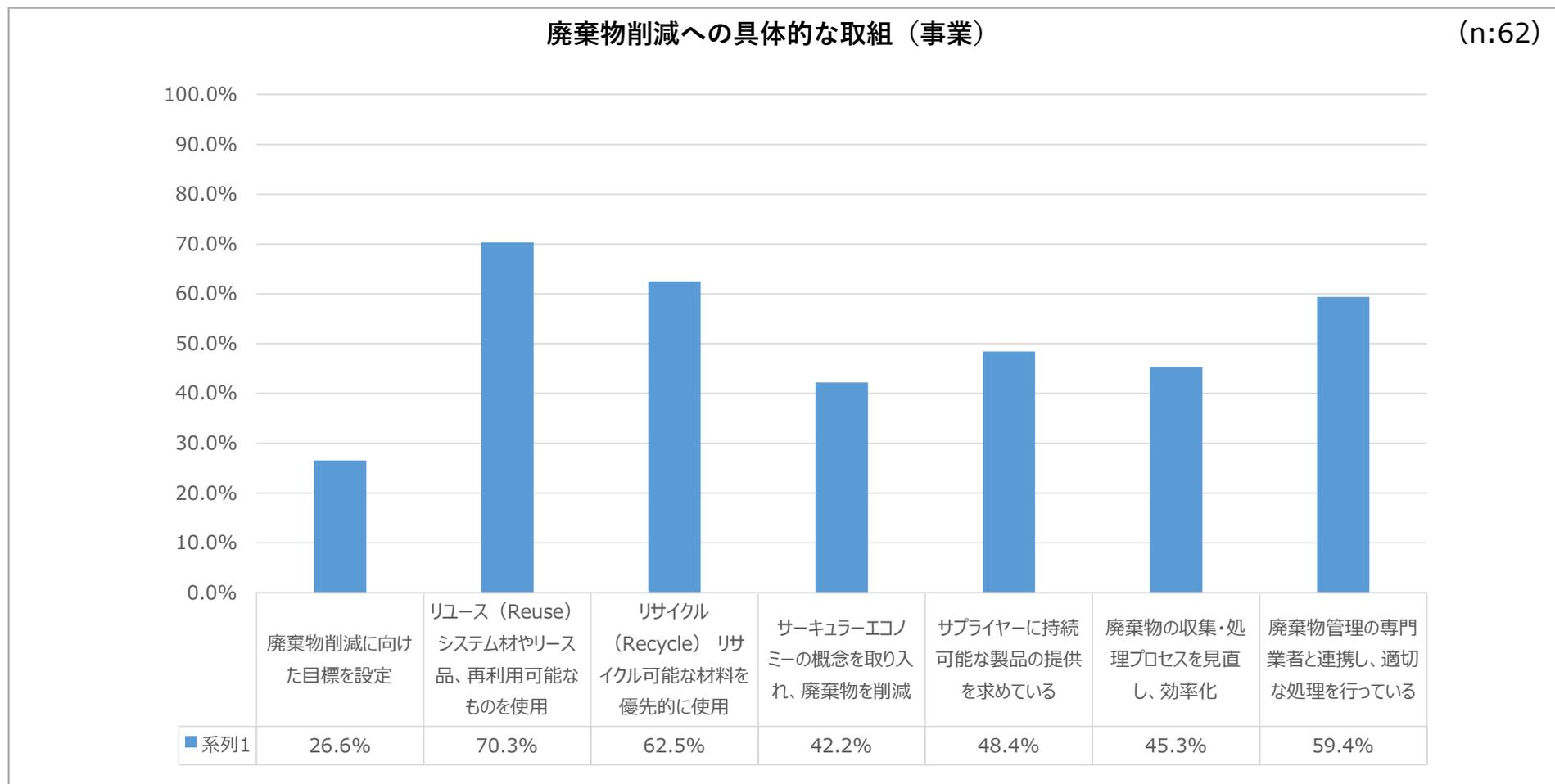
■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	57.1%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	54.8%
ホテル・MICE施設 (n:13)	53.8%

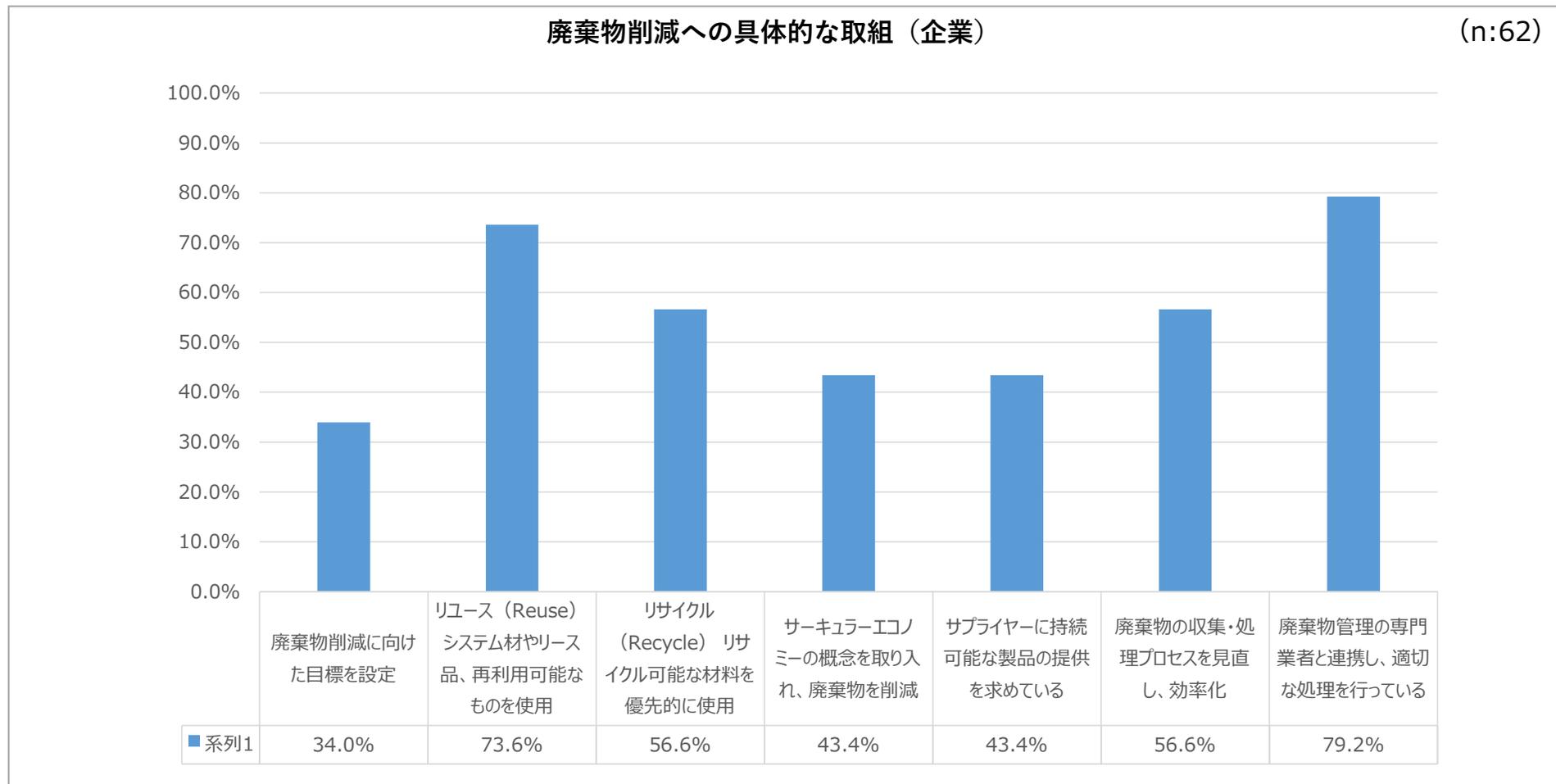
資源循環に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

廃棄物削減のために実施している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



資源循環に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

廃棄物削減のために実施している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



廃棄物削減に向けた取組について補足または、その他具体的な取り組み内容をご記入ください

企画・運営

- ・一部ブルーシートや養生用白ビニール、コピー用紙の水平リサイクル。マニフェスト適正運用に向けた社内仕組みづくり。資材廃棄・メンテナンス時の分解分別リサイクル。レンタル品の活用。
- ・社内申請書類の電子化、顧客への請求書、見積書の電子化を実施している

映像音響・施工・レンタル

- ・制作スタジオから排出される廃棄物のマテリアルリサイクル率目標の設定・協力会社に対するCSR調達アンケート実施・アクリルメーカーとのクローズドリサイクルの取組み実施・電子マニフェストの採用
- ・廃棄物処理の業者を視察に行き適切に管理されているかチェックを行い適切な企業との取引を行っている

ホテル・コンベンション施設

- ・社内のごみ分別率向上への取り組み
- ・燃やすごみの排出量目標を設定

- ・タイルカーペットの再利用
- ・ワックスの水研磨によるリサイクルシステム導入
- ・廃棄物処理の流れを示したパネル設置、イラスト付きのゴミ箱により分別を促進
- ・希望する主催者には、催事で排出された廃棄物のリサイクル率や総量が把握できる廃棄物カルテを発行
- ・産業廃棄物（汚れたプラスチック）や食品廃棄物から発電した電力の地産地消（施設内で排出される、産業廃棄物（汚れたプラスチック）の焼却により発電した電力と、食品廃棄物のメタン発酵により発電した電力を、臨港パークの電力に再利用（地産地消））
- ・パンフレットのデジタル化

その他

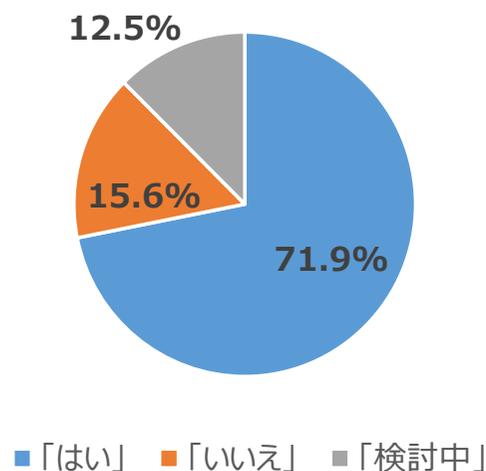
- ・イベント本番業務で使用後の電池の再利用、取引先への配布。
- ・廃棄処理と中古販売を扱う業者との取引を行っている

問1：取組の推進状況 3) 労働安全衛生に向けた取組

3) 貴社では、労働安全衛生に関する具体的な取組をしていますか？

事業活動

(全体 n:96)

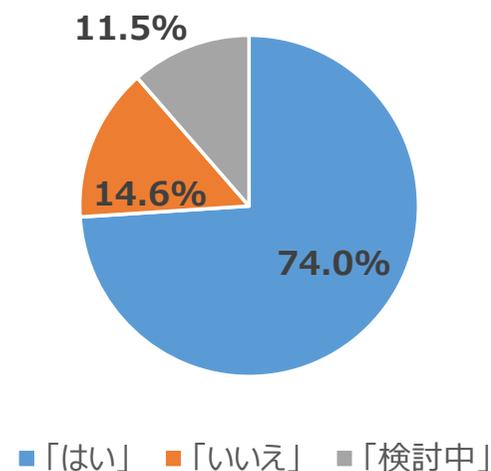


業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	61.9%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	74.2%
ホテル・MICE施設 (n:13)	76.9%

企業活動

(全体 n:96)

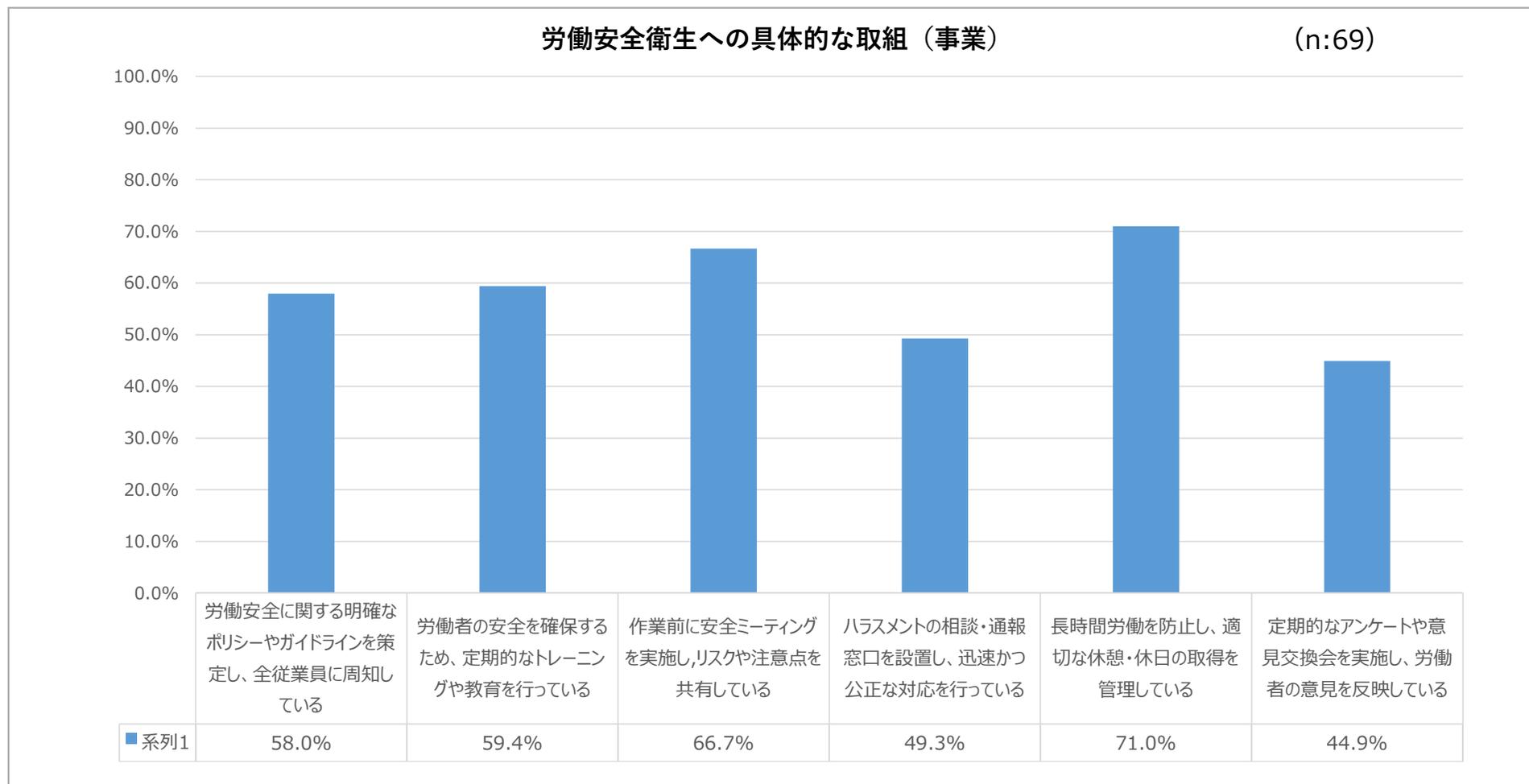


業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	76.2%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	80.6%
ホテル・MICE施設 (n:13)	61.5%

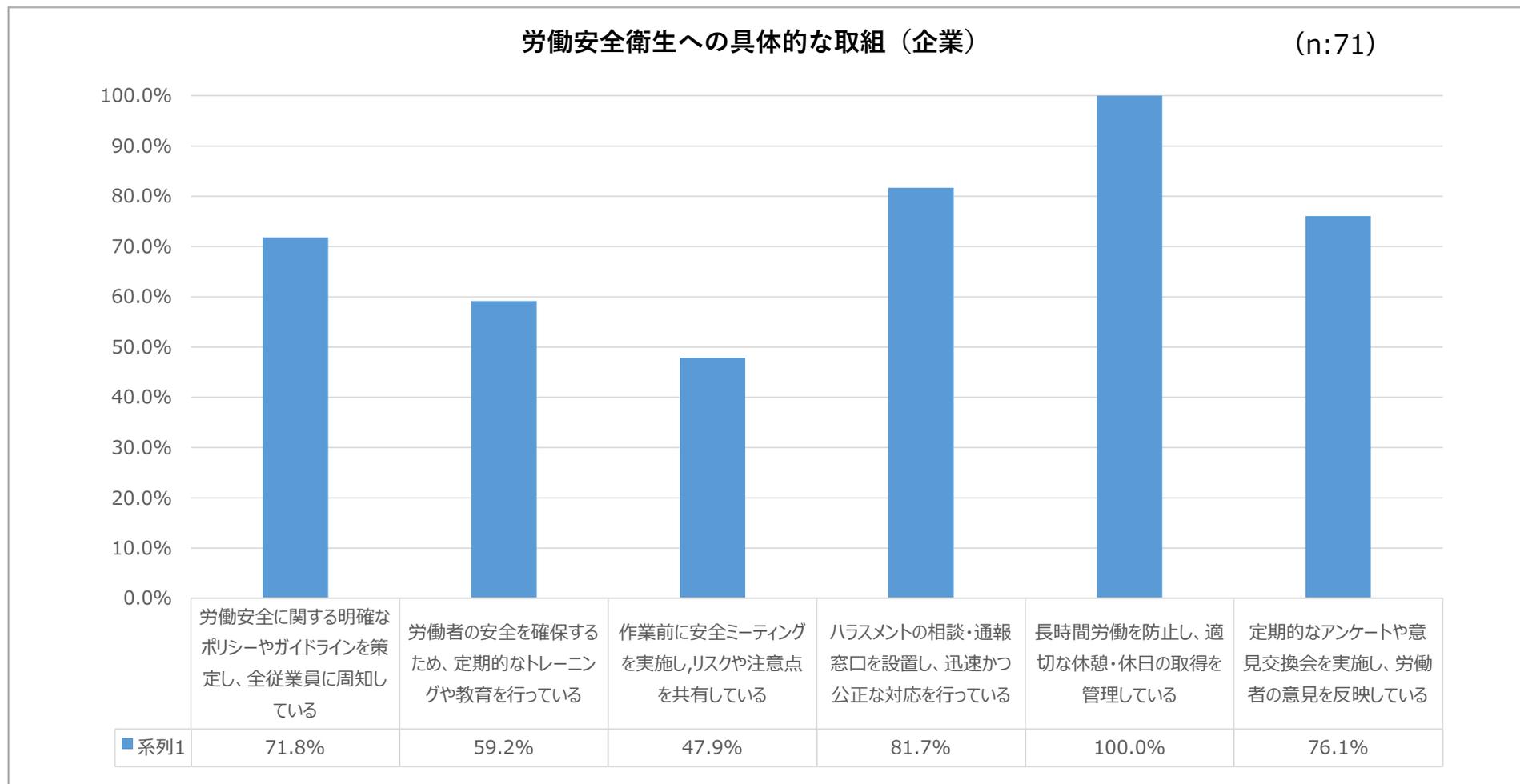
労働安全衛生に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

労働安全衛生に関して実施・運用している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



労働安全衛生に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

労働安全衛生に関して実施・運用している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



労働安全衛生に向けた取組について補足または、その他具体的な取り組み内容をご記入ください

企画・運営

- ・毎年、安全・品質向上推進大会を実施。サプライヤーにも課題や事故事例、改善取組み等を共有。協力を促している。
- ・超過勤務を事前申告制にして、上長が適切な労働時間になるように管理している
- ・毎週水曜日のノー残業デイの実施
- ・イベント現場における長時間及び深夜設営にならないような、クライアントへの提案や調整

映像音響・施工・レンタル

- ・安全衛生委員会を設置、月一で委員会を開催して 法改正やヒヤリハット等の情報共有を行っている
- ・毎月安全衛生委員会にて全社的な時間外労働時間を報告し、問題点や改善点を協議
- ・長時間労働を防止する為の社内委員会を設置しております。

- ・社内規定に安全衛生・ハラスメント・雇用就労について明記周知している。雇入れ時、重量物運搬・高所作業・トラック積込みや誘導の研修をしている。臨床心理士を招きストレス対処法の研修を実施している(全社員向け基礎研修、役職者向け応用研修) 勤怠管理システムにより勤怠状況を役職者と管理部門が管理している。半年毎に全社員と面談を実施している。匿名で投稿できるシステムにて意見を吸い上げ、上層部にて検討し、結果を公表している。

ホテル・コンベンション施設

- ・ストレスチェック実施
- ・エンゲージメントサーベイ調査を毎月実施

その他

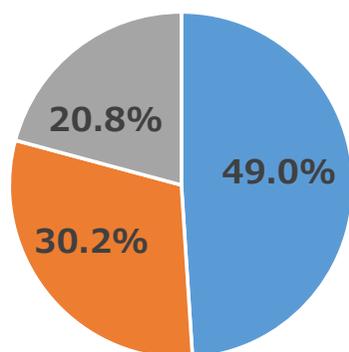
- ・社用車に安全装置の標準装備を搭載（自動ブレーキ等）
- ・運転者全員に対する交通安全講習や、惹起者に対する講習の実施
- ・防災用品、災害用品への投資など

問1：取組の推進状況 4) DE&I (ダイバーシティ、イクイティ、インクルージョン)に向けた取組

4) 貴社では、DE&Iを推進するための具体的な施策は実施していますか？

事業活動

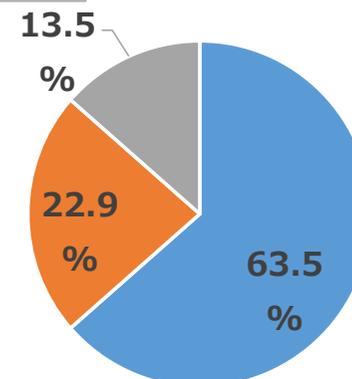
(全体 n:96)



■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

企業活動

(全体 n:96)



■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

業種別の傾向「はい」と回答

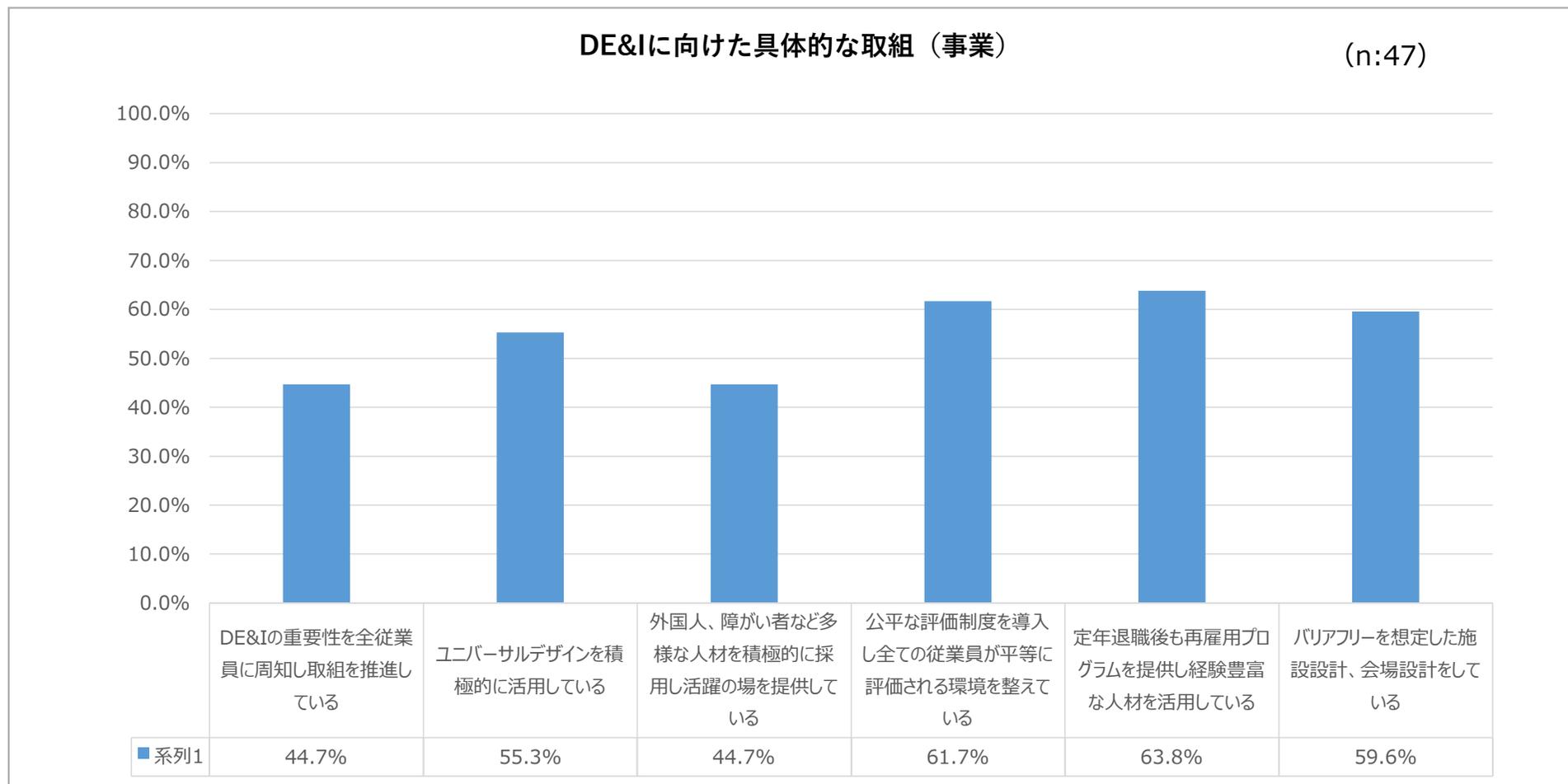
企画・運営 (n:21)	42.9%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	38.7%
ホテル・MICE施設 (n:13)	69.2%

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	66.7%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	58.1%
ホテル・MICE施設 (n:13)	61.5%

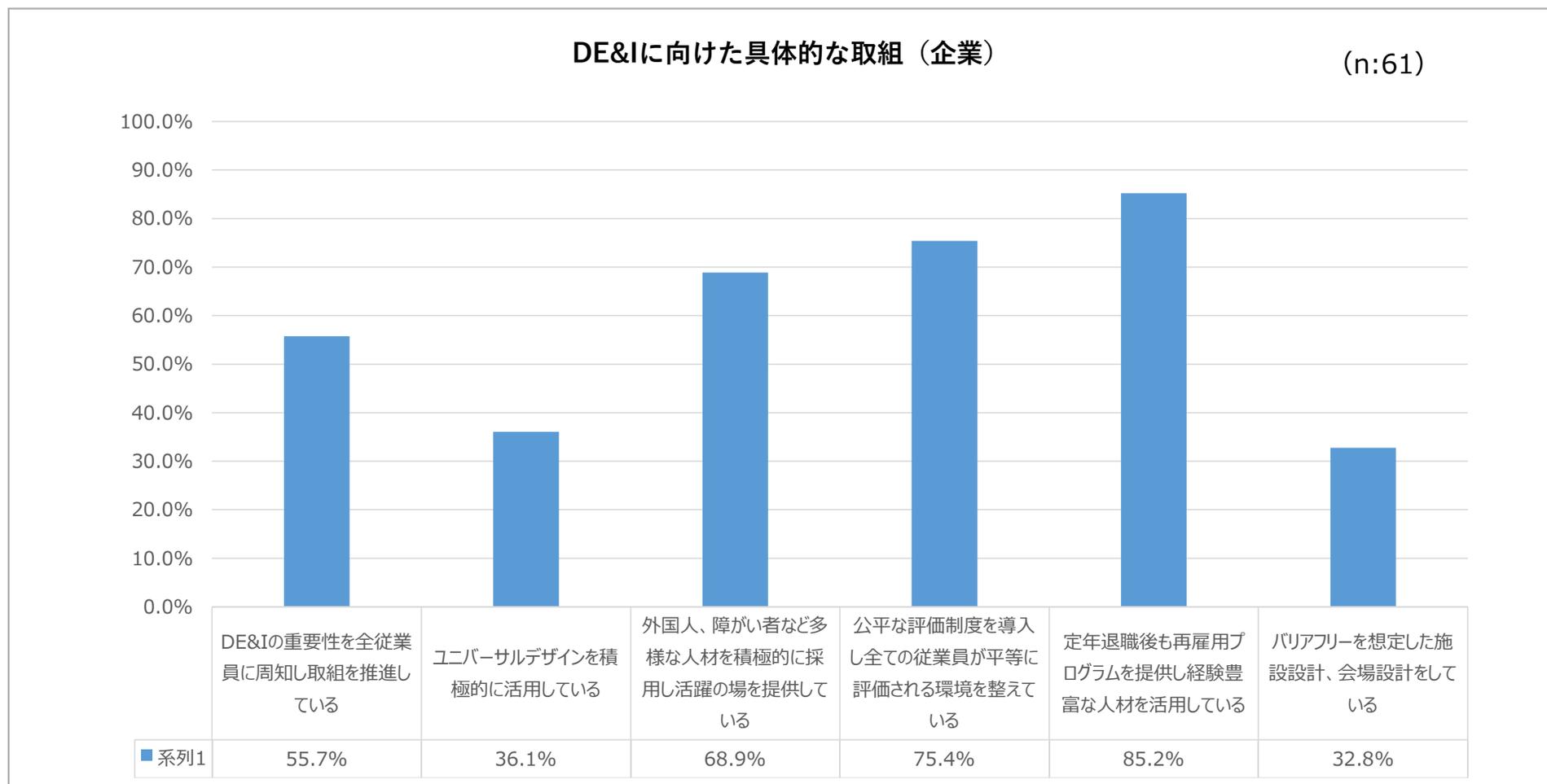
DE&Iに向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

DE&Iを推進するために実施している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



DE&Iに向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況②

DE&Iを推進するために実施している取組があてはまるものを、「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



DE&Iに向けた取組について補足または、その他具体的な取り組み内容をご記入ください

企画・運営

- ・定年退職する社員には再雇用制度の提案を実施している
- ・会議現場のスタッフとして、障がいをもった方にも働いていただく取り組みを行った
- ・ウィズダイバーシティの活用 <https://with-d.com/>
- ・弊社では就業規則で定年制を否定し、従業員は本人が希望する限り何歳までも就業を続けることができます。また、在宅勤務を基本とするテレワークの積極的な導入により、ワークライフバランスの向上を促進しています。

映像音響・施工・レンタル

- ・会社負担にて社員の目的に合ったセミナー受講を推奨
- ・営業や事務局スタッフに外国人採用を積極的に実施、また、倉庫作業などにおいて障がい者採用も実施している。
- ・ダイバーシティの推進・健康優良法人の維持・メンタルヘルスサポートの強化・女性社員の活躍推進・産休・育休の支援など
- ・DE & Iの重要性を全従事者に周知し取り組みを推進しているの補足事項として、全従業員に対してユニバーサルマナー検定の受講を実施している。

ホテル・コンベンション施設

- ・多様性に配慮した環境整備
(ピクトサインを使用した分かりやすい施設案内、多言語での案内表示、多目的トイレ(オストメイト対応)、赤ちゃん休憩室、礼拝室、全男性用トイレへのサニタリーボックス設置)
- ・女性の活躍推進
- ・男性育児休職取得推進
- ・外国人、障がい者の雇用数増と職場環境改善の推進

その他

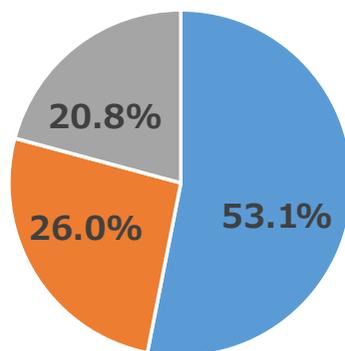
- ・定年退職された従業員もその経験能力に応じて積極的に採用している。子育て世代の女性従業員も積極的に採用し、勤務時間、曜日を配慮した勤務形態としている。特に保育園/幼稚園児がいる家庭の方には、お子さんに対する急な対応（急な発熱などで園からの呼び出し 等）にも他の勤務者含めて柔軟に対応している。

問1：取組の推進状況 5) 社会効果に向けた取組

5) 貴社のサステナビリティ推進において、社会効果がある具体的な取組はありますか？

事業活動

(全体 n:96)



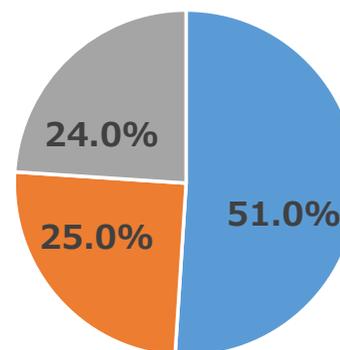
■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	61.9%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	32.3%
ホテル・MICE施設 (n:13)	76.9%

企業活動

(全体 n:96)



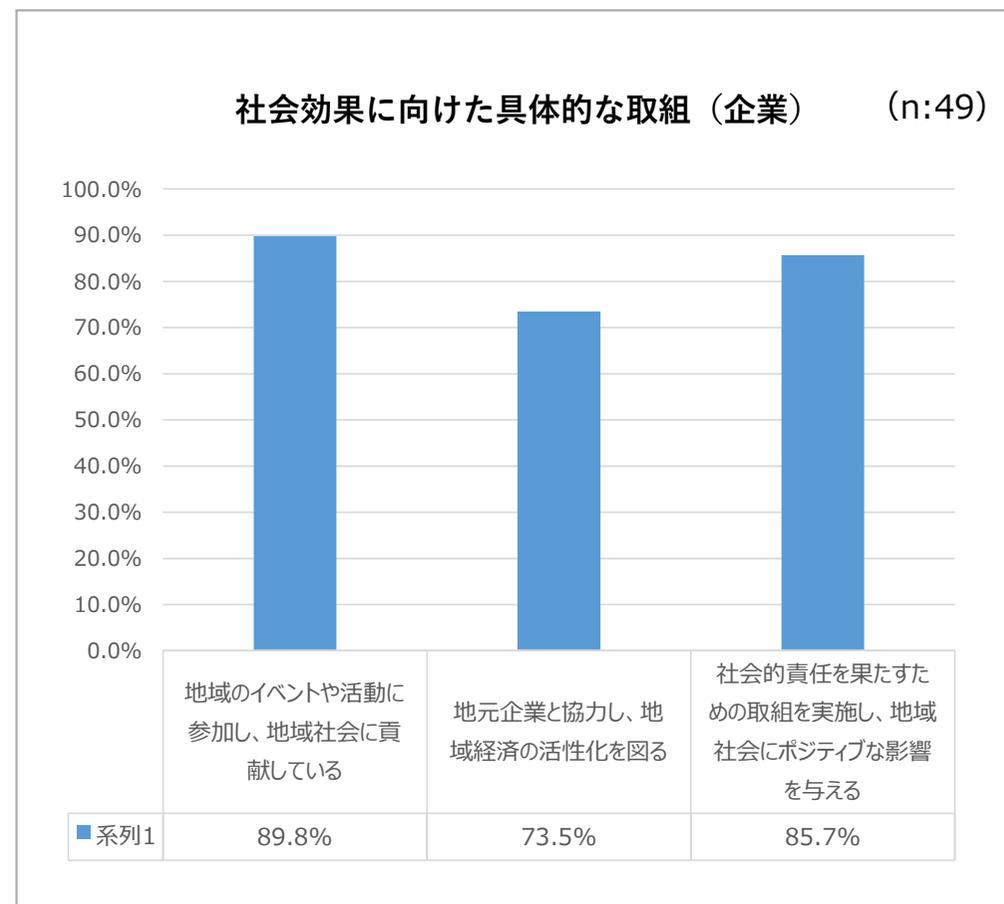
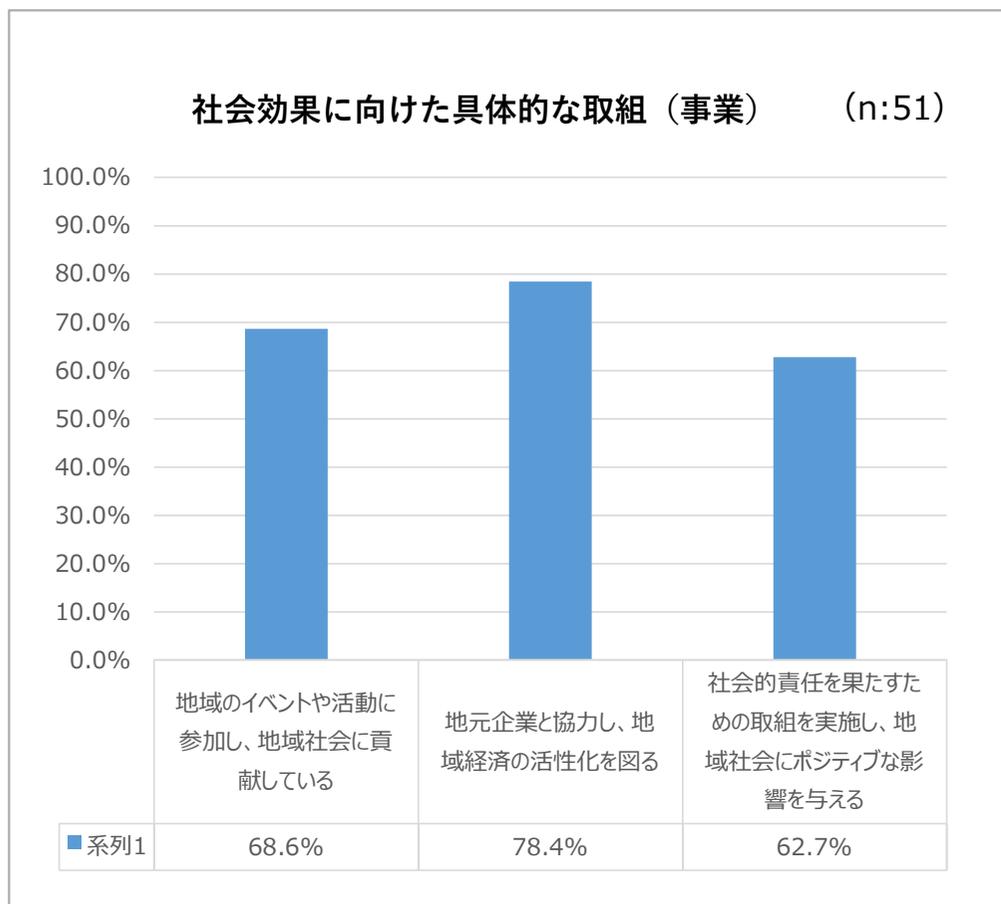
■「はい」 ■「いいえ」 ■「検討中」

業種別の傾向「はい」と回答

企画・運営 (n:21)	52.4%
映像音響・施工・レンタル (n:31)	45.2%
ホテル・MICE施設 (n:13)	69.2%

社会効果に向けた取組を「行っている」と回答した会員の取組状況①

貴社のサステナビリティ推進において社会効果としてあてはまるものを「事業活動」「企業活動」ごとにチェックしてください。（複数回答）



社会効果に向けた取組について補足または、その他具体的な取り組み内容をご記入ください

企画・運営

- ・本社所在地域のお祭り（イベント）に毎年参加協力。全国の拠点で地元企業と協力したイベント制作、アルバイト雇用。陸上部による陸上教室の実施、NPOと連携した大学生パラスポーツ体験イベント共催、障がいのある方と一緒に楽しめるイベントへの参加・協力など。
- ・イベントで余った昼食（お弁当）を子ども食堂に届ける取り組み
- ・ウェルネスの観点からヨガの普及事業ならびに健康経営学をとりいれています

映像音響・施工・レンタル

- ・沖縄県のSDGsパートナーズに登録を行い、取組を報告しています。
- ・東京YMCA東陽町コミュニティーセンターへ寄付金を送り、こども食堂の食材やイベントでの景品にご利用いただいています。
- ・当団体が主催するイベントにボランティア（クリーンウォーク等）として参加しています。
- ・地方中高生の修学旅行に伴う企業訪問の受け入れをしており、周辺地域を訪れる機会創出となっている。

- ・市と連携し防災協定を既決したり、花火大会など地域のイベントへ協力を行っています。
- ・地域で主催している清掃活動等に参加している。
- ・地域行事への参画、ボランティア活動

ホテル・コンベンション施設

- ・地域活性化の協力、街全体で行う周遊型イベントなどの企画実施
- ・地域食材を使用したフェア開催や地域の産業とのコラボレーション商品の開発
- ・災害時における施設協力を市と締結（帰宅困難者の一時待機場所、物資集配拠点、補充的避難場所、災害時給水協力貯水槽）
- ・清掃活動への参加

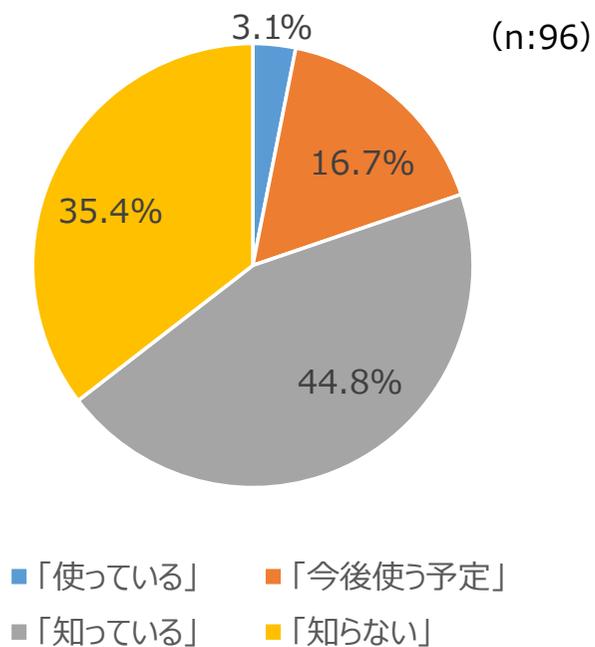
その他

- ・植林活動へ参加、植林ツアー社員旅行の定期実施
- ・地域共創イベントを年間で60以上実施。（地域企業、地域行政、学校など）、知育活動支援など

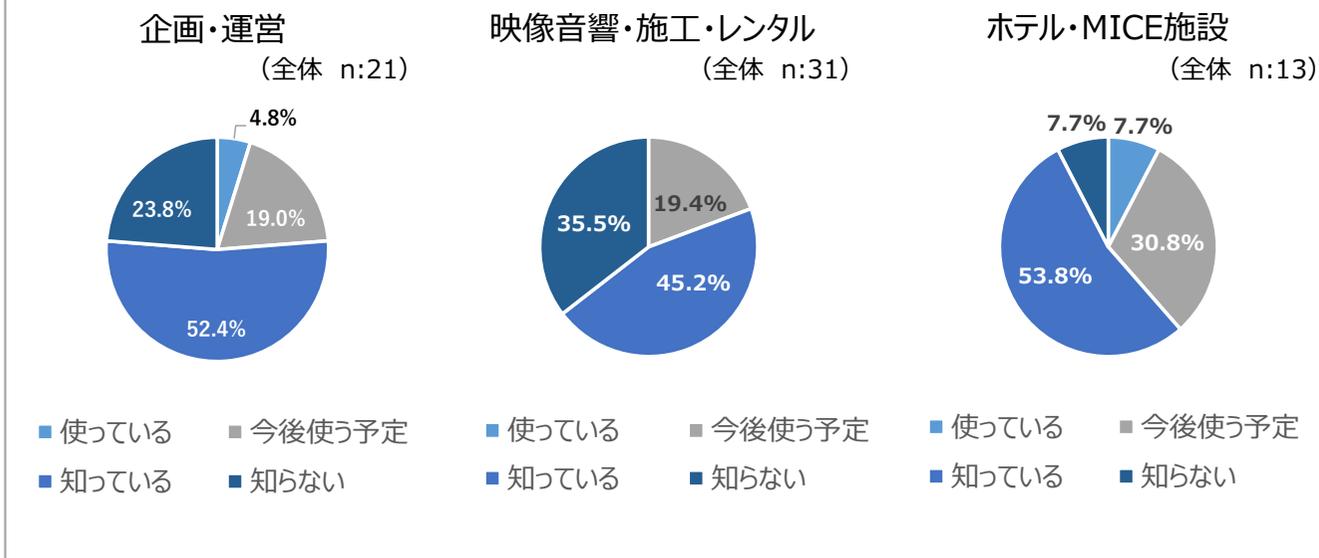
問2：『イベントMICE関係者のための使いやすいサステナビリティガイドブック』の利用について

問2：9月20日に発表されました『イベントMICE関係者のための使いやすいサステナビリティガイドブック』について

サステナビリティガイドブックの利用(全体)



業種別の状況



サステナビリティガイドブックを「使っている」または「使う予定」とご回答いただいた方へどのように使っているか（使う予定か）をお教えてください。

企画・運営

- ・社員個人や部署における使用推進や、社員研修などの機会に使用など検討したい。その上で理解・浸透を図りながら、実務で活用される機会が増えるのではないかと想定している。
- ・当社独自に定める「サステナブルMICE実践ガイドライン」を改定する際に参考にさせていただく予定です。
- ・沖縄の地域性が活かされている「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」について、より広範な見地から改定するための上位概念として活用したい。

映像音響・施工・レンタル

- ・社内サステナビリティワーキンググループの活動参考資料として
- ・イベントマニュアル作成
- ・既存のガイドラインとの併用による効果の検証
- ・社内勉強会

ホテル・コンベンション施設

- ・自社運営施設で達成度を測り、今後のサステナ活動の指針にしている
- ・大型催事利用者への案内
- ・主催者のサステナビリティ方針を理解し、会場や飲食を提供する企業として要望に応え、提案できる体制を整える
- ・ガイドブックを通して、施設内ハード・ソフトの見直し、改善

問3：今後の取組予定

問3：今後取組もうとしている企画、試み、計画している事項を教えてください。

企画・運営

- ・CO排出量計測の精緻化と、それに基づいた段階的削減の実施 ・ダイバーシティの推進等
- ・研修の拡充、社員の自発的な活動の支援、脱炭素の取り組みなど。
- ・イベント・MICE開催におけるCO2排出量算定支援サービスの拡大
- ・イベント開催を通じた地域貢献・子供支援など
- ・沖縄出身の経営者を育成するとともに、資本構成における沖縄の出資比率を高め、沖縄の地元企業として持続的に発展していく企業への構造改革を計画し、推進中です。

映像音響・施工・レンタル

- ・レンタル事業における二酸化炭素排出削減の数値化
- ・社内でサステナビリティに関するアイデアを募集し、アイデアに対してアワードを設ける。
- ・サステナブル社内教育セミナーの実施

- ・グループとして4つの重要課題と15の取り組みテーマを設定し取り組んでいる。
- ・社内環境の改善（従業員が快適に過ごせる空間の設営）
- ・サステナブルブランド国際会議における イベントへのサステナビリティ実装
- ・弊社はディスプレイ、サイン関係の仕事をしており、大量に出るゴミ問題、材料選定を踏まえたことを真剣に考え、この問題について業界全体で今後どの様にしていくべきかを共有できれば良いと思っています。
- ・定期的な社内報による告知
- ・企業ミッション、ビジョン、バリューの見直しの実施の際にこの内容を組み込む
- ・企業としての積極的なCSR活動
- ・サプライチェーン全体の温室効果ガスの把握など
- ・学術連携

問3：今後取組もうとしている企画、試み、計画している事項を教えてください。

ホテル・コンベンション施設

- ・アップサイクルなど、環境に配慮した食材・資材を提案
- ・フードロスに対する取り組み強化
- ・目や耳が不自由な方への案内備品導入、廃棄業者の選定(リサイクル活動に積極的な業者など)
- ・サステナビリティに関する第三者認証の取得
- ・館主導での自主事業企画。SDG s等をテーマに地域を巻き込んだイベントの企画等
- ・ISOなどの認証取得
- ・デジタル化の推進
- ・参加者へのドリンク提供で出る紙コップを廃棄せずにリサイクルする仕組みづくり
- ・ケータリングで余った食事を使用しコンポスト、ビルの畑での肥料として使用し、その畑でとれた食材を使用してケータリング提供

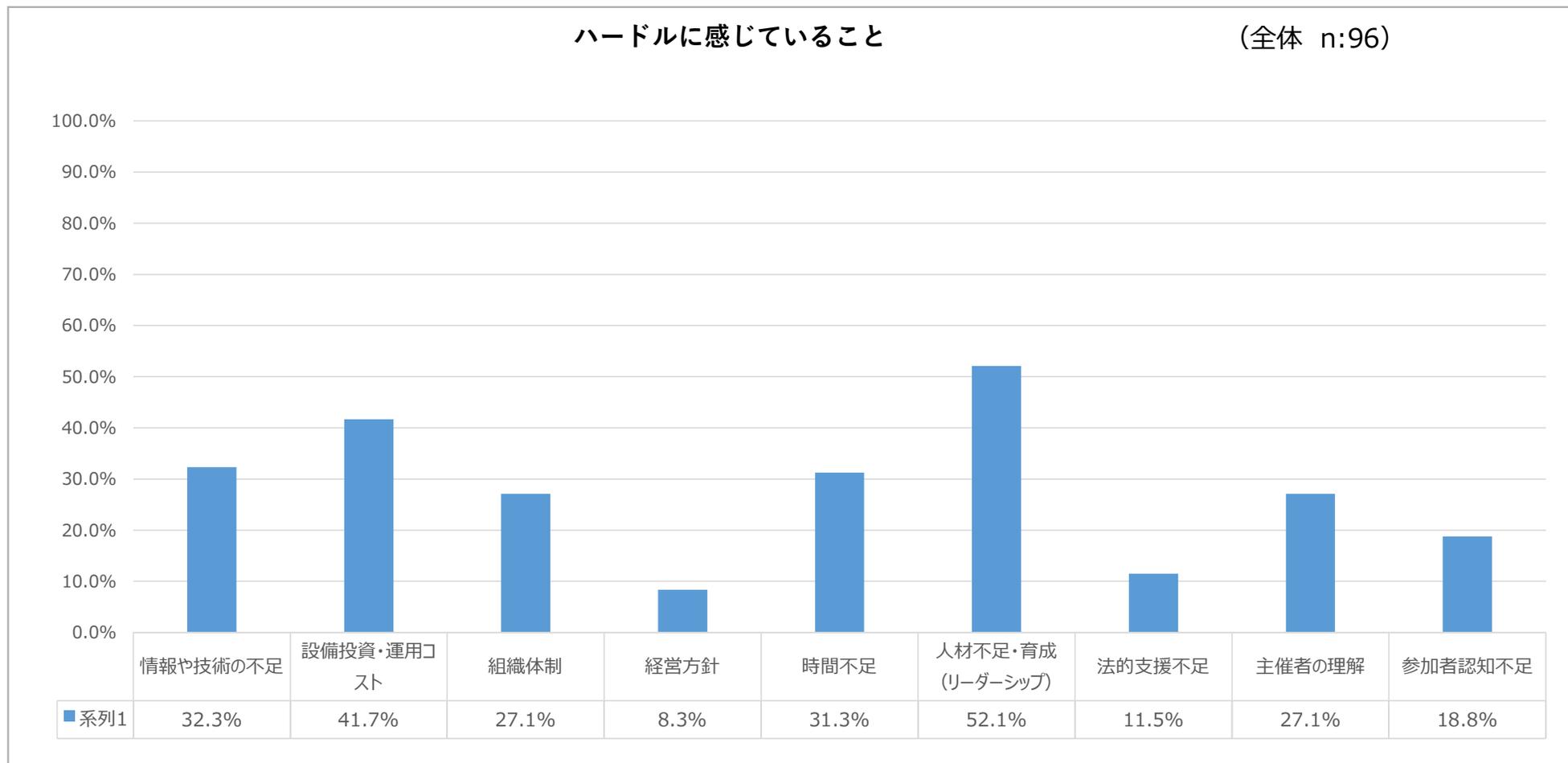
- ・サステナビリティをより推進するための企画
- ・会場内で使用する電力の再生エネルギーへの置き換えが可能なプランの導入
- ・障害をお持ちの来場者へのアテンション力の向上

その他

- ・環境に配慮した具体的な目標設定と行動計画の策定
- ・脱炭素アドバイザーの育成。
- ・コンテンツのデジタル化や設備の入れ替えなどによる環境負荷の低減など
- ・積極的な地域貢献活動。子ども食堂のような飲食を通じた事業活動で地域に貢献を計画。

問4：ハードルに感じていることについて

問4：取り組んでいるが、さらに一層の推進をするのにハードルに感じていることがあればその事由を教えてください（複数回答）



企画・運営

・企業努力など自発的な推進が理想だが、法的拘束力を持たせる、取組みに対する助成金やインセンティブも必要と考える。また、官公庁や自治体など主催者の積極的なイベント開催費用（予算）の見直し、仕様書の変更なども必要ではないか。

映像音響・施工・レンタル

・現在弊社は、ISO14001と27001を認証取得しており、そちらの認証継続に係る人員とコスト負担が大きいため、新たな取組みをすぐには始めるのは難しい状況であると思います。しかしながらやるべきことであるのは間違いないため業界の動向を見極めて進める必要があると 感じています。

ホテル・コンベンション施設

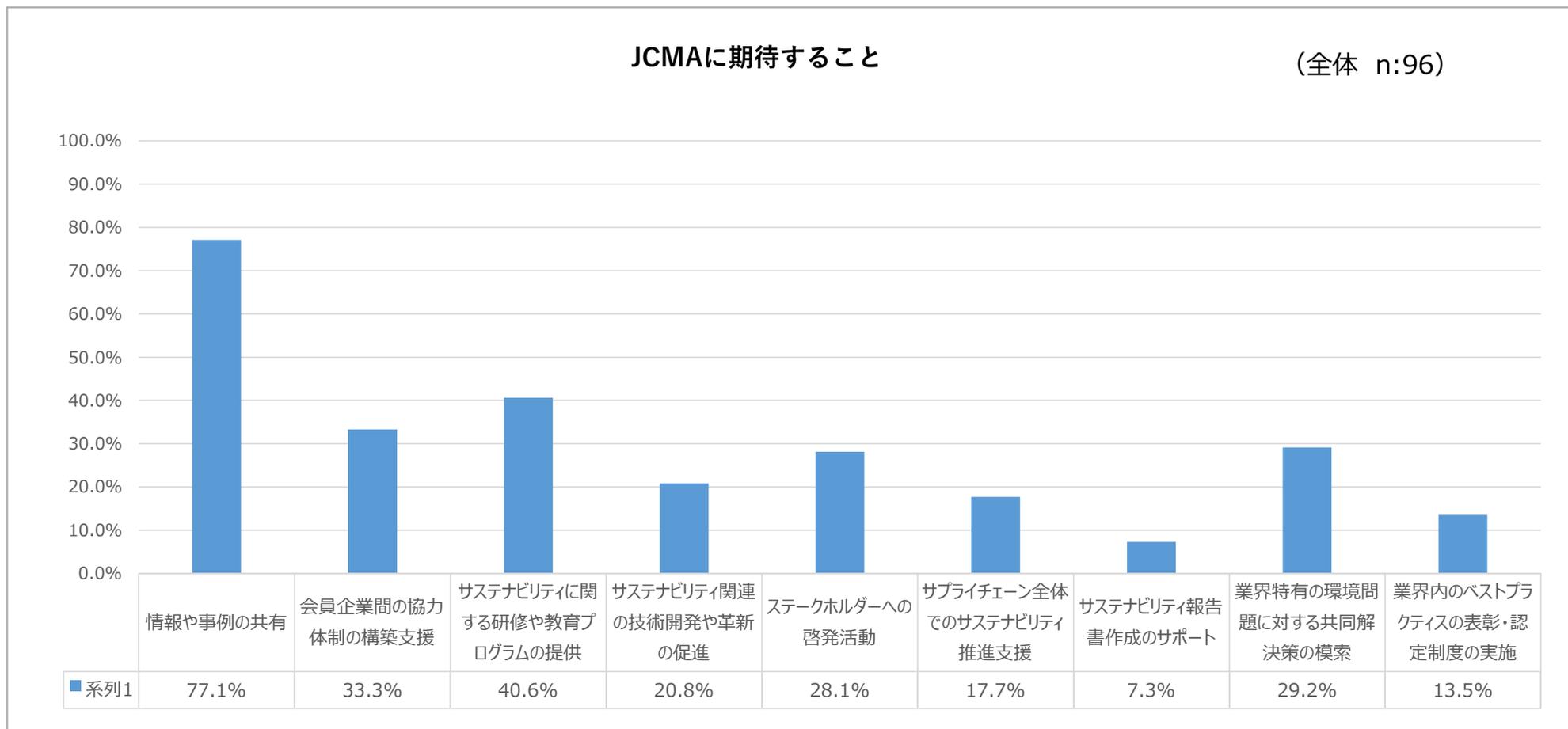
- ・主要事業でないため、費用をつぎ込めない。サステナに対する取組みに対する収益がないため、純マイナスになる。
- ・クライアントから要望がない、要望が分からない
- ・サステナブルな商品を開発・提案はしているが選ばれづらい
- ・調達先・連携先が見つかりにくい
- ・社内の理解や協力を得るのに苦勞する
- ・MICEにおけるサステナビリティ活動について、国内外の良い事例を知りたい

その他

- ・マンパワー不足。制度の申請受付に行政にコミットいただくスキーム構築の必要性を感じる。（事業者登録制度に応用など）
- ・新たな取組や、社会情勢にミスマッチな状況においても、聞き入れていただかず障壁になるケースがある。主催者、関係者間のコミュニケーションに課題。
- ・サステナビリティのセミナーを実施するとともに、MICE参加者向けメニューを開発する。

問5:JCMAに期待すること

問5: サステナビリティへの取組を推進するうえで、JCMAに期待することをお寄せください。(複数回答)



企画・運営

- ・業界内の協力も必要だが、クライアント（主催者）など業界外への訴求が重要になると考えます。差プラチェーン全体での支援に関しては、特にGHG算定におけるスコープ3の適用事例（ベストプラクティス）など紹介してもらいたい。
- ・業界特有の情報、事例があると思うので共有できる場（Web等での共有）があれば良いと思います

映像音響・施工・レンタル

- ・特に懸念されるのは、コスト面の上昇だと考える。取組を推進していく中で、通常より費用が上がることになると思うが、それを理解したうえでのイベント運営が必要になる。業界全体でニューノーマルを作っていくことが望ましい。
- ・企業活動の取組み事例は大手企業が多く中小企業に当てはまりにくく、事業活動の取組み事例は弊社サービス業に当てはまりにくいと感じています。MICE業界内での研修や表彰が活発になることで、業界内中小企業の取組みが促進されることを願っています。

- ・社内の人間にも浸透しやすくできるように、隙間時間などで閲覧できる簡易な取組み事例を紹介・掲載してほしいです。

ホテル・コンベンション施設

- ・研修や事例紹介により知見を得たい。
- ・国際的なイニシアチブとの連携

その他

- ・中小企業における財政的・人的な支援が欲しい。